

平成28年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会 議事録

1 開催日時 平成28年11月24日(木) 14:30~16:00

2 開催場所 新居浜市医師会 1階会議室

3 出席者

委員：沖委員、岸委員、定岡委員、神野委員、西原委員、松井委員、宮内委員、山内(富)委員、山内(保)委員(9名)

事務局：地域包括支援センター 所長・古川、副所長・伊藤、副所長・亀井、係長・佐々木、係長・越智、介護福祉課課長・加藤

4 会議内容

(1) 平成28年度重点事業の進捗状況について

(2) 平成29年度地域包括支援センター事業計画(案)について

(3) 懸案事項について

(4) 健康長寿体制整備第一層協議体への報告等

(5) その他

5 傍聴者 0人

6 議事録

会長	<p>定刻となりましたので、ただいまから、平成28年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただき厚く御礼申し上げます。</p> <p>議事に入ります前に、委員の出席状況を報告致します。本日の会議は委員数14名に対し、出席委員9名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>それではただ今から議事に入りますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いいたします。</p> <p>まず議題1の平成28年度の進捗状況について事務局から報告をお願いいたします。</p>
----	--

事務局	<p>報告の前にまず、今回第2回の運営協議会の開催が大変遅くなりましたことを改めてお詫びいたします。本来でしたら委員の皆様のご要望を反映した予算要望が出来るように、9月下旬か10月上旬には開催すべきところだったのですが、第二層コーディネーター配置方針の庁内協議の結果を待っての開催を考えていましたところ、ここまですれ込む結果となってしまいました。</p> <p>また、本日の資料内容につきましても、予算要望の調整と同時期になりまして、その関係で一部が当日配布することとなりました。重ねてお詫びいたします。</p> <p>では説明に入ります。</p> <p>(資料1説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から「平成28年度重点事業の進捗状況について」の報告がありましたが、ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>ボリュームがありますので、まず介護予防事業から、何かご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>介護予防教室のところで、一部で自己負担が発生しているというご指摘がありましたが、具体的にはどのような自己負担が発生しているのですか。</p>
事務局	<p>市では、介護予防教室が終わったら、自分たちで、例えば自治会館などに集まって健康活動を進めるとか、自宅で自分が努力するという様な姿を想定しているのですが、指導に入られた事業所さんがその後の活動として、会費ですとか月謝でありますとか組合費ですとか、そうしたものを伴う形でのサークル活動とか健康教室活動というのを紹介されるという様な事です。それが自然発生的に行われるのは構わないのですが、介護予防教室を利用しての営業活動というように見られ、あまり行き過ぎて、市がそれを紹介しているというような形になってはどうかと思っております。</p>
会長	<p>ほかに何かございませんか。</p>
委員	<p>ボランティア育成というところですが、今回の場合は、シルバーボランティアですから、余暇のある方がやって下さったり、企業を退職した方がターゲットになっているかと思うんですが、先月、松山市のある地域、一つのコミュニティの中で、50代くらいの男性の方達が、生垣をカットしたり、電球交換したり、色々な事をするボランティアグループを作られ、もう10年近く「頑張っている」というか「楽しんでいる」というお話を聞きました。男性のボランティアグループは、企業等が地域で町づくりという発想で作ったり、仕事を終えて暇になったから活動するという向きがありますが、私も時間のある人がするものだという認識をしていましたので、目から鱗の思いでした。自分たちの町の中で困っている人がいれば、会員さんの中から出来る人を見つけて、お手伝いしようという様なものだったのですが、今、こうしてボランテ</p>

	<p>ィアの育成をしているけれど、70代80代になると出来る役割にも限界がある。年齢によって出来ることが違うことを考えると、自分たちの地域のボランティアと合わせて考えてみることで、町づくりの視点、町の中でどういうボランティアがいくつあれば上手く暮らしが成り立つかという視点は大切になるかと思えます。</p> <p>新居浜市にはお勤めを辞めて時間がある方も結構いらっしゃるかと思うんですが、土日もしないで働いている人はあまりいないとも思いますので、余暇のうちの2時間くらいをちょっと集ってお手伝いしようかという風な、そんなかたちもありかなと思いました。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>政策会議の直前に、あるボランティア団体さんから市長向けに、シルバーボランティアポイント助成を65歳未満の人にも拡大して欲しいという要望がありました。私も同席して話をお聞きしたのですが、その時に市長は、4年前から自身の公約として「ボランティア制度を進めたい」としているが、一期は進められなかった、二期は頑張りたいと話され、シルバーボランティアのポイント制度は介護予防事業でやっているの、これは65歳以上とさせていただくが、65歳までの方については別途ボランティア制度を実施していきたいというようなお答えもされておられました。</p> <p>なお、その後、包括は65歳以上の介護予防の分野が担当だけでも、包括の事業は参考になるので入ってもらって、他の関係課所も入って、そういった動きを今後早急に相談してほしいという指示も出されるに至っています。</p> <p>包括も今から在宅へのマッチングや要望の聞き取り、こういった方に行ってもらおうかというセッティングを上手くしたいと考えておりますし、その中で今後65歳未満の方の活動もシルバーボランティアポイントではない別な新しい制度の中で、お手伝いいただく、たとえば電球を替える、電池の切れた壁掛け時計の電池を替えることだけでも一人暮らし高齢者なら要望があろうかと思えますので、上手く繋げていきたいと考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>縦割りではなく、横軸に串を通すという意味で、「ボランティア」というキーワードは、どことどこが連携すれば本当に暮らしやすくなるのかという観点のきっかけになる。楽しく、しかも役に立つというのがあったら良いかなと思えます。</p> <p>施設でも自分の施設だけの営利を目的に動くのではなく、地域貢献の様な動きが、今どんどん広まっているときでもありますし、新居浜は民間施設も多いところ。そういう意味では繋がりを持って活動すると、より良くなるかなと思えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>ボランティアの活動内容を見るに、レクリエーションが多いのですが、勿論ボランティアですから活動内容をこれにしてくださいというのは基本出来ない話だと思うんですけど、事務局としてはこの辺りが増えて欲しいという考えはあるのでしょうか。</p>

事務局	<p>在宅活動は現在、お一人の所に行っていたいただいた実績しかありません。要望はあるのですが、そこをきちんと拾い上げられていない状況です。</p> <p>ボランティア登録されている方にどんな在宅活動だったらできますかと尋ねたところ、62人の方が、行ってもいいよ、こんなことならしてもいいよとあげていただいたのが、資料の表の数字になっています。お聞きした項目を並べているのですが、通院の送迎とかになりますと、保険のこととかも含めて注意事項としてきちんと対応できるのかといった心配もあります。</p> <p>最初のアンケート段階で細かな要望として聞いて、行ったらどこまで可能なのか、例えば草引きして欲しいと行ってみたら、草ボーボーで一人ではとても無理という様な話もないとは限りませんし、やはりまず一人一人の方をこちらが細かく把握できる体制を作ることから始めたいと思います。</p>
会長	<p>それでは包括的支援事業について何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>初期集中支援チームについてですが、実際ドクターは訪問をするわけではなく、アドバイザーとして入られることと思いますが、それでもかなり負担は増えてくると思います。どのように対象者を見つけて、具体的に動かれる話となるのか、今の段階での状況を教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>初期集中支援チームは他市の運用状況をみると、大きく3パターンに分かれています。1つは、しっかり広報をして、本当に初期の方からどんな方の所にも出向いていくというタイプの動きをされている場合。それからもう一つは、困難ケース含めて医療に結びつかない方を対象としている場合。3つ目が形だけ作って体裁は整えてはいるものの、あまり積極的な運用をされていない場合。</p> <p>今、新居浜市で考えているのは2番目のパターンです。先日の講演会・勉強会の講師・精神保健福祉士の宗先生のお話では、広報をどんどんやると本当にどんどん連絡が来ますよと。正直、そこまで対応するだけの体制というのは難しいのではないかと考えております。</p> <p>例えば民生委員さんがちょっと気になる方をランチさんに連絡し、担当者から包括に相談が来ているケース、直接市役所に連絡・通報があるケース、こういったものは現在も対応をしております。担当者が対応したり、認知症疾患医療センターのPSWさんが対応してくださったりというのはあるんですが、そのもうちょっと拡張版というところからじっくり関わって行って、この方には支援する人が今いないという状況を見極めながら運用できたらと考えております。ご家族がいらっしゃって、そのご家族に、必要な知識や、こうやって下さいねと進言することは、日常的に包括やランチで行っていますが、その次の段階で、この人は支援チームの支援が必要なのかと一度フィルターにかけ、運営したいと思います。</p>
会長	<p>次に任意事業についてはどうでしょうか。</p>

	<p>来年度実施しないという事業もあるんですね。実施しないというのは、ほぼ決まりなのですか？</p>
事務局	<p>いろいろな査定において、例えばこちらは残しなさいとか、件数は絞ってでも急に全部辞めるのはどうかといった話もありえますので、現在は調整中ということです。</p>
会長	<p>それでは最後にⅣの新総合事業の移行についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>②のところで、第1回事業所説明会時配布の質問事項への回答というのがありますが、事業所さんから、かなり質問は出たのでしょうか。</p>
事務局	<p>質問はずいぶんありました。 制度の移行に向けての書類の手続きや規約の書き換え、契約等々に関わる様なことが多かったかと思います。あと、質問ではないのですが、要望として、今後どういう方向に進むのか知りたい、多様なサービスの方向性はどうしていくのかといったような意見も多数ありました。</p>
委員	<p>まだ質問するところまでも見えてこないの、ご苦労していらっしゃるだろうなと推測します。はざまの支援をきちんと捉えられる目線というか、地域を見ながら高齢者の暮らしぶりというところに視点を置いて支援の在り方が考えられたら良いなと思います。A型とかC型とか、そういったところはまだこれからですよ。取りあえず現行相当の移行をするということですね。</p>
会長	<p>資料を見るに、報酬も現行相当でということですよ。新規利用者は要介護認定を受け、既利用者については基本チェックリストを受けて、そのまま継続できるということによろしいのですか。</p>
事務局	<p>継続の方のうち、デイサービスとヘルパー利用だけの方が新総合事業のサービス事業対象となりますので、その方はチェックリストで。それ以外に福祉用具を借りられているなど、一つでも別のサービス利用があったら認定が継続されるという形になります。</p>
委員	<p>心配されるのは、駆け込み需要というかたちで、逆に認定者が増えないと良いなど。そこまでの状況はまだ新居浜は見えていないのですが、都会の方はものすごく認定者が増えたというところもあります。</p>
会長	<p>次に議題2の平成29年度地域包括支援センター事業、議題3の地域包括支援センター懸案事項について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>では関連がございますので、議題2の平成29年度地域包括支援センター事業、議題3の地域包括支援センター懸案事項について続けて説明いたします。</p> <p>(資料2・資料3説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から平成29年度事業計画と懸案事項について説明がありましたが、ご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>資料2 その他の「成年後見制度普及支援事業」のところで、法人後見センターの担当職員が退職されて事業は終了というところですが、現在、受けている後見は何件くらいでしょう。</p>
事務局	<p>順に後見人変更の手続きをされていると聞いているのですが、ふたば会から、法人後見を辞めますという届け出を一件ずつ出し、裁判所が次の後見人を決めるという作業を行っているようです。1月には、今、ふたば会さんがお持ちの方皆さんに次の後見人が決まると聞いております。</p>
会長	<p>何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>社会福祉士会は元々、成年後見にかなり関わっていると思うんですね。県の社会福祉士会のなかにはそういった基盤とか、知見を持っている人がいて、弁護士さんと連携をしたりして取り組んでいるので、個人が辞めたらアウトなんてあり得ないことだし、社会福祉士は新居浜にも結構いらっしゃると思いますから、その辺りでは途切れない様にしていただきたい。ふたば会の中にも社会福祉士さんはおられるはずですよ。育つまで待つのではなく、育てつつでも雇用を示しておかないと途切れるのかなと思います。県全体としては社会福祉士さんが成年後見を活発にやっておられるので、そういったノウハウは取り込めるのではないかと思います。思いながらお聞きしました。</p>
事務局	<p>この話が出た時に、ふたば会さんに、法人後見の看板を完全に降ろしてしまうのですかとお聞きしたところ、そうではない、今は担当職員がいなくなり、実質活動ができなくなるので、そういう形をとらせてもらうけれども、法人として後見の看板を降ろすわけではないから、今後また体制を立て直すというお返事はいただきました。</p> <p>ただ、一度辞めた法人さんを、裁判所がどう評価するかは、これはまた別な話になると思います。その点で言うと、法人さんも、法人全体の運営の関係もあって、別の職員を準備出来なかったことについては、申し訳ないと話されています。今回、法人を辞する担当職員さんは、社会福祉士会の役員もされていますので、今後もそのあたりの相談はさせていただくとは思いますが、後見自体の事務は包括の事務ではないので、動きがスムーズにいくような関わりくらいになるものと思っております。</p>

委員	<p>主任ケアマネの確保で、やっと育成というか研修修了者ができたという様な事でしたけれど、新居浜市は主任ケアマネのライセンスを持つ人が、県内でも人口比率でも多い市だと思っています。行政職員は資格取得しても、人事異動があり、いくら頑張っても主任ケアマネを育成しても、それが定着できないという現状があると思います。研修を受け、育成されても、そこでお仕事ができる人が、一人でなく、複数いるという体制が必要です。</p> <p>前副所長さんを始め、何人か主任ケアマネはおられますし、民間を含めれば、新居浜市には非常にたくさんの主任ケアマネがいらっしゃいます。活動も熱心ですから、何かこの町の特性を活かせれば良いなと思いながらうかがいました。育成を始めて10年になります。高額優遇とか複数配置とか考えていただきたいですよ、行政責任なので。</p>
事務局	<p>行政責任については、福祉部内だけでなく、人事関係者にも理解を求め、しっかり対応していただけるよう働きかけたいと思っています。</p>
委員	<p>がんばってください。</p>
会長	<p>他にございませんか。</p>
委員	<p>見える化のツールの社会資源のコーディネーターさんの配置の辺りですけど、カシオとかの大手メーカーが公開しているフリーのソフトがあって、その中では自由に、担当者会議の調整の連絡をグループを作って連絡しあうとかいうようなものが、学会で発表されているんですね。ちょっと研究してみたらどうかなと思うものがいくつか出ています。</p>
事務局	<p>カシオさんのネットで落とせる分ですね。 わかりました。また研究してみます。</p>
会長	<p>次に健康長寿体制整備第1層協議体への報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料4 説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま、事務局から第一層協議体の報告がありましたがご意見やご質問はございませんか。</p>
委員	<p>先ほど資料整理や介護保険事業所一覧で、空き情報を有効にネットワークの中でキャッチするという仕組みを作りたいと言われてましたが、これはまだ作られてないんですか。</p>

事務局	ないです。
委員	<p>県内ではサイボウズの仕組みで kintone（キントーン）を西予市が使っていて、包括がリーダーシップを取って全福祉系事業所、一部医療機関をネットワークで結んでいると思うのですが、そういった具体的な情報は入っていますか。</p> <p>野村に本拠があり、今、私たちモデル事業で入っているのですが、本学もそのキントーンに入れていただいて、研修の情報を広く無料で配信したり、事業所一覧の毎年の更新を各事業所が積極的に修正して包括に出すというようなかたちで、一定のリストが出来て、皆さんが利用しているという例があります。</p> <p>新居浜市は大きい市ですし、たくさんの事業をお持ちなので、同じようには難しいかもしれません。守秘義務とか情報の範囲もあるかと思いますが、かなり便利に動かし、公民館や自治体も含めて少しずつユーザーを広げているようです。必要な情報で、まだいただけていない情報があるのなら、お互い連携を取るといいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今の空き情報等の情報管理部分と社会資源をマッピングしていく部分を別々なソフトでやっていくのか、オールインワンのところがないのかという所も含めて、みてみたいと思います。</p> <p>キントーンについては担当者から説明をうけております。登録者がそれぞれキーを持ってアクセスしに行くタイプですよ。</p>
委員	<p>そうです。行政の中でも幾つかの関係部局、あと公民館といったところも入っています。高齢者の生活をサポートするという所で少しずつユーザーを増やして行って、スピーディーに情報が入って来る状況にあります。</p>
事務局	<p>新居浜市は以前から情報セキュリティについては独自の政策を持っていて、全国的に二系統を持っていない時から、庁内LAN系と基幹業務系を分けるみたいな発想があるところです。外部に参加するというのはなかなかハードルが高いと思うのですが、情報政策課とも相談しながら検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>西予市は、市といえども高齢化率40%ですから、そういったところでささやかな資源をどう有効に使うかという、ケアマネジャーさんをサポートするような形で最初は出来たのですが、介護保険の資源だけでは絶対ダメなのでもっと広げようということで、交通の問題とかいろいろな社会教育の方々も参加し、研修が出来たりとかしているんです。</p> <p>情報収集していただいたら、いいものが出来るのではないのでしょうか。</p>
事務局	ありがとうございます。

会 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
委 員	地図上表示や情報出しというのは、よくネットで食べ物屋さんとかで出てると思うんですけど、市内にもインターネット関係の会社が幾つかあると思うんですけど、あ あいったところにご相談されたら何か良いアイデアがあるような気がするのですが、その辺りはいかがなんでしょうか。
事務局	業者に相談するのは、かなり気心知れているところなら良いのですが、最終的にどこに決めるかは入札となるので、相談したところに落ちなかったりということがおきてきます。なかなか難しいかなと思います。 また、新居浜だけで進めていくのか、できれば近隣との足並みも気にしながら行きたいと思っています。
委 員	マップに落としてとなったら手間もお金も掛かりそうな気がしますね。 ソフトもある様な気がするのですが。
事務局	ありがとうございます。色々調べてみます。
会 長	他にご意見・ご質問はございませんか。 ないようでしたら、最後に、その他として、事務局から何かございますか。
事務局	次回第3回ですが、介護福祉課で今、地域密着型施設の募集をしており、12月上旬が締め切りです。その審査を次回運営協議会にあわせてお願いしたいと考えており、1月26日（木）の開催を予定しています。 先ず冒頭、地域密着型施設のプレゼン及び審査をして、その集計の時間を利用して、運営協議会を開催し、先ほど懸案事項でお伝えした事項の報告をさせていただいた後、最後に地域密着型の審査結果をお伝えして終了という流れで進めたいと思っています。日程を調整いただき、ご協力いただけたらと思いますが、ご都合が悪い方は、ご連絡をいただければと思います。場所は市役所3階の応接会議室を予定しております。事務局からは以上です。
会 長	ありがとうございました。 では次回は1月26日でよろしく願いいたします。 以上で、本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。長時間に渡り、熱心にご協議いただき、ありがとうございました。 これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。

